



中部電力パワーグリッド

資料 3 - 1

特命契約の内訳と解消に向けた取組み

中部電力パワーグリッド株式会社

2022年11月4日

連系線・基幹系統工事に係る特命契約の理由

- 第1規制期間中における連系線・基幹系統工事に係る特命契約について、品目、工種別に特命の理由を整理すると、以下のとおりとなります。

(単位：億円)

	部門	品目・工種	特命理由ごとの内訳						計
			既設改造	既設増設	製造(施工) 可能会社1社	仕様等 起因	施工力 確保	緊急対応 (災害等)	
物品	送電	鉄塔	—	—	少	3	—	—	3
		電線	—	—	—	少	—	—	少
		ケーブル	—	—	—	少	—	—	少
		その他（碍子など）	—	—	13	—	—	—	13
	変電	変圧器	—	—	—	—	—	—	—
		遮断器	—	—	—	1	—	—	1
		GIS※設備	少	16 ^①	—	—	—	—	16
		調相設備	—	—	—	2	—	—	2
		断路器	—	—	2	—	—	—	2
		制御・保護盤	46	少	—	15 ^①	—	—	61
		その他（計器用変成器など）	18	1	少	4	—	—	23
		架空送電工事 (うち2018年度以前の特命予告)	—	—	少	—	125 ^② (125)	5	130 (125)
	計		65	18	14	25	125	5	253 (125)
工事	送電	架空送電工事 (うち2018年度以前の特命予告)	—	—	少	—	125 ^② (125)	5	130 (125)

※GIS…ガス絶縁開閉装置のこと。開閉装置は、変電所を運転・保護するため回路の電流を開閉・遮断する遮断器、回路を電氣的に隔離し電圧を開放する断路器などで構成され、これらの機器と線路を1つのガスタンクに収納し設置面積をコンパクトにしたものをガス絶縁開閉装置（GIS）と称します。

①物品の主な特命理由と解消に向けた取り組み

- 特命理由に応じて対応策を検討し、特命解消・競争化の拡大を進めることで、透明性・公平性を確保しつつ、価格低減に取り組んでまいります。

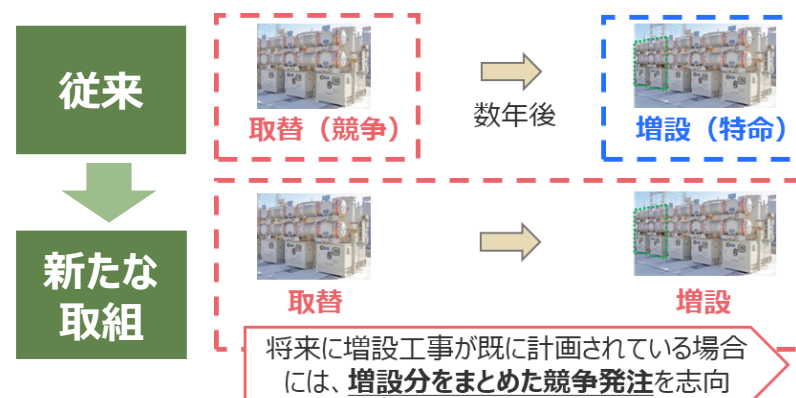
特命理由

【既設増設】

GISの増設にあたっては、既設のGISと増設するGISを結合します。この結合部の設計・製造には、メーカー固有の技術情報等が必要であり、既設メーカーでのみ対応可能であるため、特命発注となります。

特命解消(競争化)に向けた取り組み

- GIS取替にあたり、数年後にGIS増設が計画されている等の場合には、GIS増設分も一括で競争発注することにより、GIS増設時の特命発注を回避する取組を進めております。



GIS



制御盤・保護盤



【仕様等起因】

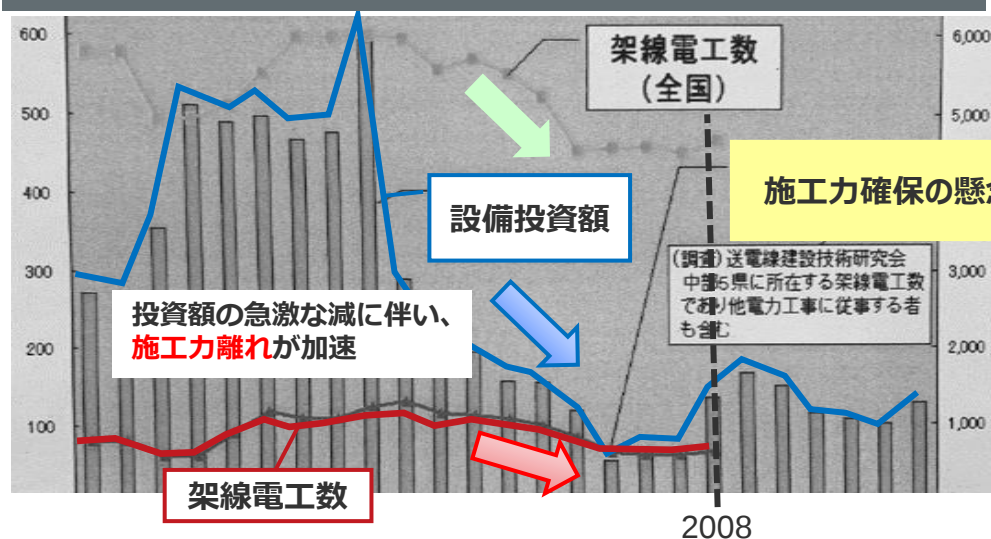
設置対象が少ない保護盤においては、発注数量が少ないことから、新規メーカーに参入を促すものの、参入には至らず、既存メーカーによる特命となっております。

- 複数の機能を有する保護盤（例：電圧によらず使用できる保護盤）を開発することで装置あたりの発注数量を増やし、メーカーの参入意欲向上を狙う取組を検討しております。
- また、新規メーカーが参入するまでは、複数年分の発注をまとめ、スケールメリットによるコスト削減を図っていくことを検討しております。

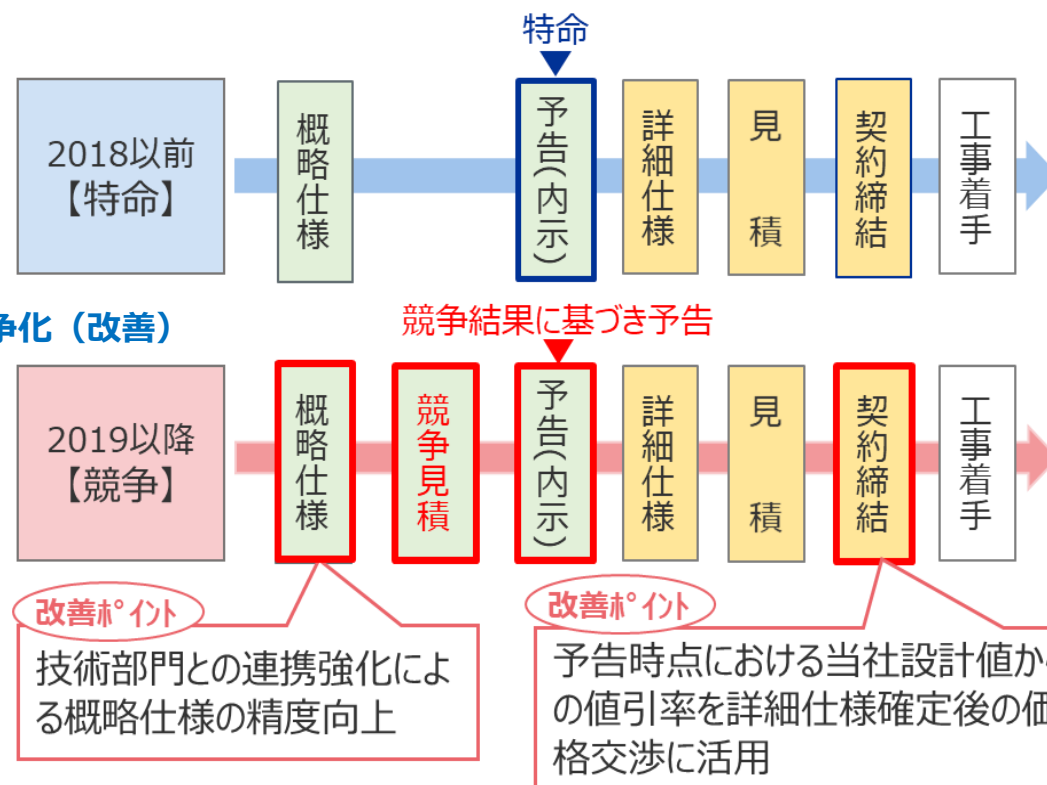
②工事の主な特命要因と解消に向けた取り組み

- **2018年度以前**は、**施工力を早期に確保**するため、施工可能な請負会社に対して概略仕様を提示し、施工可能な会社へ予告(内示)を行ったうえで**特命発注**としておりました。(ほとんどの工事はすでに竣工しており、第1規制期間においては、**工期が長い大型工事分**だけが特命契約となっております。)
- 一方で、競争発注比率を改善するべく、他の一般送配電事業者への個別調査等を行うことで、**精度の高い概略仕様にて競争入札を実施する手法を確立**し、**2019年度以降**は、競争入札を実施しており、**競争化と早期の施工力確保を両立**しております。

施工力確保の懸念



予告調達プロセスの見直し（競争化）



【参考】特命契約の価格妥当性

同一送電線の建替工事における鉄塔 1 基あたり単価の比較

同一送電線の シリーズ工事※	1 基あたり単価 指数
1 工区：競争	100
2 工区：特命	99
3 工区：特命	88
4 工区：特命	97

※ 同一送電線の工事であるものの、工事条件は一致していません